

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2005-117692(P2005-117692A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017
 【出願番号】特願 2004-379068(P2004-379068)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 3 】

次に、ステップ S 7 において、通信を切断する要件が発生しているかのチェック（判定）を行う。通信を切断する要件としては、（１）あらかじめ決められた一定時間の間に通信が全く行われな、（２）バッテリーの残量が不足して通信を継続できない、（３）脱着可能な記憶装置がカメラから外されて撮影および映像データの読み出しができない、（４）内部的なエラーが検出された、などが例として挙げられる。これらの通信切断要件は、通信を行いながら制御手段であるメイン CPU 4 - 4 およびサブ CPU 4 - 5 によって常に監視されている。チェックの結果、通信切断要件が全くなければステップ S 6 にもどり、通信は継続される。